

2022年7月8日

全国手話言語市区長会加盟自治体 各位

一般財団法人全日本ろうあ連盟

理事長 石野 富志三郎

(公印省略)

「手話言語の国際デー」のライトアップへのご協力依頼

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2022年9月23日の手話言語の国際デーに向けて、世界ろう連盟より世界各地でライトアップするよう呼びかけがありました。

当連盟もこの機会を活かして、今年は「世界そして日本を青色に！-いのちの輝き 手話言語に光を-」をテーマにした啓発イベントを開催し、全国各地へ手話言語への認知を広め、手話言語法の制定へ結びつけたく思います。

つきましては、全国手話言語市区長会加盟自治体の皆様におかれましても、この機会を積極的に活かし、地域のろう協会と共にライトアップ啓発イベントをご検討頂けますようお願い申し上げます。なお、詳細につきましては別紙の企画案をご覧ください。

そのうえで全国各地の取り組み状況を把握したく、恐れ入りますが、7月25日(月)までに、ライトアップ場所及びイベントの内容について、当連盟事務局まで情報提供をお願い致します。

戴いた内容を逐次、7月25日以降に当連盟ホームページでご紹介させていただきます。

※ ライトアップ及びイベントの内容においては9月23日当日まで受け付けておりますので情報が分かり次第、ご連絡いただけると幸いです。

<添付>

- ・ ご参考： 手話言語の国際デー、国際ろう者週間のご案内
- ・ 世界ろう連盟からの案内（コンセプトノート）
- ・ 企画案（「世界そして日本を青色に！-いのちの輝き 手話言語に光を-」）

問合せ先： 一般財団法人全日本ろうあ連盟

担当： 藤川 (fujikawa@jfd.or.jp)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階

TEL 03-3268-8847 FAX 03-3267-3445

以上

ご参考： 手話言語の国際デー、国際ろう者週間のご案内

手話言語の国際デー (International Day of Sign Languages)

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟(WFD)が設立された日です。

毎年、テーマが決められており、2022年のテーマは「手話言語で団結しよう! (「Sign Languages Unite Us!」)」です。

また2022年は、WFDから、世界各地で、WFDロゴの色である「世界平和」を表す青色にライトアップするよう働きかけています。連盟としても全国各地で青色にライトアップするとともに、「手話言語の国際デー」の記念イベントを実施予定です。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

手話言語の国際デー
のロゴ (2022年)

国際ろう者週間 (International Week of Deaf People)

「国際ろう者週間」は、WFDの主導の下、1958年9月にイタリアのローマで始まりました。WFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最後の1週間を「国際ろう者週間」としました。毎年、世界中のろう者の家族、手話言語通訳者、仲間達などを含む、ろうコミュニティによるさまざまな活動が行われ、各国の政府や行政をはじめ市民に向けたアピールに取り組むとともに、さまざまな関係者が関わっていく事を歓迎しています。

毎年、テーマが設けられており、2022年度は「全ての人のためにインクルーシブ社会を築く (“Building Inclusive Communities for All”)」です。

また1週間毎日異なるテーマも定められており、詳しくは全日本ろうあ連盟のホームページを参照ください。



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

国際ろう者週間
のロゴ (2022年)

「手話言語の国際デー・国際ろう者週間」特集ページ

https://www.jfd.or.jp/intdoc/idsl_iwdp



問合せ先： 一般財団法人全日本ろうあ連盟

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階

TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445

E-mail: info@jfd.or.jp

「手話言語の国際
デー・国際ろう者
週間」特集ページ



WORLD FEDERATION
OF THE DEAF



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

#IWDeaf
#IDSL

コンセプトノート 手話言語をブルーライトで輝かせよう！

2022年の「手話言語の国際デー」では、200以上の国の手話言語によって生み出される「団結」に世界中の焦点を当てます。手話言語が自国の活気ある多様な「言語景観（注1）」の一部となるよう、ろうコミュニティと政府や市民社会組織が手を取り合って、育成・促進・認知するための共同努力を続けます。全てのろう者や各国の手話言語使用者がもつ言語的・文化的アイデンティの促進・保護は、パートナーシップおよび団結によってのみ達成することができるのです。その理由は以下の通りです。

手話言語で団結しよう！

2022年の「手話言語の国際デー」に合わせて、各国の手話言語で共有される共通の経験がもたらす「団結」を光で照らすことを目的に、WFDは「手話言語のためのブルーライト」イベントを誇りをもって立ち上げます。

このイベントは、ブルーライト（青い光）を通じて、世界・市民・コミュニティ・社会を団結させることを狙いとしています。

公共の場所や公共のランドマーク、公式の建造物、大統領官邸、地方行政の建造物、市庁舎、その他のあらゆる場所で、2022年9月23日にブルーライト（青い光）を照らすよう呼びかけます。これらの建造物やランドマークをブルー（青色）の色で照らすことは、各国の手話言語を支援し世界のろうコミュニティとの連帯を示すという、我々の共同表明の再確認になります。同時に、生活のあらゆる場面における手話言語の使用という、人権およびより平等な社会の実現を成し遂げることができるのです。

ブルー（青色）は、WFDが1951年の設立以来、使用し続けている色です。「ブルーリボン」は、社会における平等と各国の手話言語の認知を、何世紀にもわたって求め続けたろうコミュニティの取り組みのシンボルとして使用されてきました。詳しくは、こちらのリンクをご覧ください：

<https://wfdeaf.org/70th-anniversary/>

WORLD FEDERATION OF THE DEAF

An International Non-Governmental Organisation in official liaison with ECOSOC, UNESCO, ILO, WHO and the Council of Europe. WFD was established in Rome in 1951.

PO Box 65, 00401 Helsinki, FINLAND

www.wfdeaf.org





**WORLD FEDERATION
OF THE DEAF**



**INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES**

**#IWDeaf
#IDSL**

「ブルーライト・チャレンジ」は、各国政府が、自国のろう協会と協力してろうコミュニティの人権を実現するためのユニークな機会となります。私達と一緒に、手話言語をブルーライト（青い光）で照らしましょう！

技術的な手順

WFD は、131 の正会員や各国のろう協会、国際的なパートナー、その他全ての関係者に対し、自国の政府関係者に連絡して、建造物をブルーライトで照らすことで「手話言語のためのブルーライト」イベントに貢献して欲しいという呼びかけを行うことを奨励します。

「手話言語のためのブルーライト」の取り組みにおいて、ブルー（青色）の色合いを統一したいため、WFD は、カラーコード：#007EC4（注2）青色を使用するとを推奨します。

写真や動画は、ハッシュタグ「#IDSL」と「#BlueLight」をつけて、「@Wfdeaf」をタグ付けして、ソーシャルメディアに公開してください。

注1：言語景観

情報・知識 imidasによると「街頭、公共施設、店舗などに見られる言語表記のこと。」

【引用文献】"言語景観 [言語とコミュニケーション]", 情報・知識 imidas, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2022-04-14)

注2：カラーコード#007EC4

「#007EC4」はこちらの青色です。

<https://ironodata.info/rgb.php?color=007EC4>

WORLD FEDERATION OF THE DEAF

An International Non-Governmental Organisation in official liaison with ECOSOC, UNESCO, ILO, WHO and the Council of Europe. WFD was established in Rome in 1951.

PO Box 65, 00401 Helsinki, FINLAND

www.wfdeaf.org



「世界そして日本を青色に！-いのちの輝き 手話言語に光を-」 市民、地域、社会をひとつにチャレンジプロジェクト

趣旨：

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。

手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進するとされています。

手話言語の国際デーが制定されてから今年で5年目になります。今年、世界ろう連盟は2022年の国際手話言語デーに合わせて、「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントを立ち上げました。

このイベントでは、2022年9月23日にすべての公共の場所、ランドマークや公共施設、官邸、庁舎、市庁舎などを青色でライトアップするよう呼びかけています。

このイベントを通して、世界、市民、地域、社会をひとつにし、また各国の手話言語を支援し、世界のろう者たちとの連帯を示すことを目的にしています。

全日本ろうあ連盟は、手話言語によるコミュニケーションや情報提供が保障される環境を実現するために、70年以上取り組んできた歴史があります。

2006年に国連で採択された障害者権利条約にて「言語に手話が含まれる」ことが明記されたことをきっかけに、2010年より「手話言語法」制定を求めて取り組み続けています。

この世界ろう連盟のイベントを機に、全日本ろうあ連盟は「**世界そして日本を青色に！-いのちの輝き 手話言語に光を-**」市民、地域、社会をひとつにチャレンジプロジェクトを行います。

ご賛同いただける自治体や民間等に、全国各地の名所や施設を9月23日に青色でライトアップしてもらうことで、市民、地域、社会が一つとなって、「手話が言語である」ことへの認知を広めていきます。

私たちろう者は、生活のあらゆる場面で手話言語を使うことが保障されることで、きこえる人ときこえない人がともに暮らせる、人権と平等が守られた共生社会を実現することができるのです。

チャレンジプロジェクトの推進について：

きこえる人ときこえない人がともに暮らせる人権と平等が守られた共生社会の未来を求め、近未来的なイメージがあるお台場周辺のライトアップを中心に、全国各地で同時にライトアップをすることで、大きなインパクトを人々に与え、手話が言語であるという認識を広めていきたいと考えています。

当連盟の関係団体である「手話を広める知事の会（全都道府県知事が入会）」、「全国手話言語市区長会（606 市区長、12 町村長が入会）」にも協力を依頼する予定です。

また、当連盟ホームページにも「プロジェクト公式ページ」を設置し、ご賛同いただける自治体や民間等からのプロジェクト参加申請を受け付け、公表していきます。

ライトアップについて：

ライトアップの日時や基準は以下の通りとします。

- 日時：2022年9月23日（金・祝） 日没15分後～

※終了時間はその施設等の規定による

- ライトアップ色：青色（原則として#007EC4、若しくはこの色に近いものとする）
- 点灯間隔：原則として常時点灯とする

※ご賛同いただける自治体や民間等にお問い合わせの趣旨から、ライトアップに係る費用等はその自治体や民間等の負担となります

賛同を示す周知方法について：

ご賛同いただき、ライトアップをされた場合、その自治体や民間等の SNS にて以下の通り周知を行うことをお願いします。

- 8月1日までにライトアップを行う施設名称およびその写真、ライトアップの時間、住所、アクセス等を当連盟に提供するものとします。なお、当連盟はその提供された情報をプロジェクト公式ページに掲載し、周知を行います
- ライトアップされた写真や動画は、ハッシュタグに「#IDSL」と「#BlueLight」「手話言語に光を」をつけて、「@●●●」、「@Wfdeaf」をタグ付けしてソーシャルメディアに公開してください
- ライトアップされた写真や動画は、終了後に当連盟にご提供ください。プロジェクト公式ページにて報告及び当連盟の広報媒体、書籍等に掲載することがあります